

## こよしがわ 子吉川癒しの川整備事業

受賞機関 国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所

### はじめに

子吉川は鳥海山の秋田県側にその源を発し、本荘平野を貫流し、日本海に注ぐ、幹川延長60.8km、流域面積1,190km<sup>2</sup>の河川である。

癒しの川整備事業は、川の持つ安らぎ、癒しという潜在的な要素を福祉と医療に生かす目的で由利本荘市の芋川合流点对岸の河川空間に整備したものである。計画段階から河川管理者、市民と地元行政、医療機関、福祉関係者が連携し、子どもから高齢者まで利用できるユニバーサルデザインに基づいた川づくりを行った。人と自然が融合する癒しの場として、入院患者の運動やリハビリ、市民の散歩、子どもたちの環境学習に利用されている。河川公園の名称は公募により「せせらぎパーク」と名付けられた。



全景

### 事業の概要

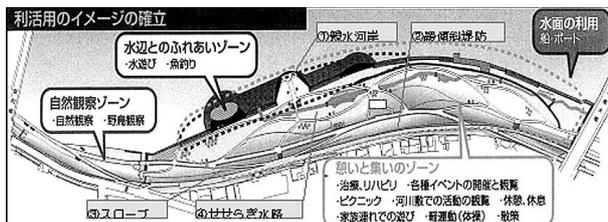
平成3年頃から、河川空間の多目的利用が議論され、誰でも利活用できる川の整備について、ハード・ソフト・ハートの面から検討が行われた。これまで川の持つ癒し効果を、医療活動の一環として活用してきた本荘地区をフィールドとして、癒しの川整備事業を実践した。

#### ○ 施設概要

高水敷整正約1.2ha、緩傾斜堤防（張芝含む）・坂路工1式、通路工1式、階段工10箇所、せせらぎ水路約600m

#### ○ 事業実施期間

平成10～平成15年度事業費：約5億円



### 事業の特徴と効果

#### (1) 河川利用者参加型のユニバーサルデザイン

車いすでも水辺までアクセス可能な段差のないバリアフリーの施設整備の実施。

#### (2) 癒しの川づくり懇談会から市民活動へ

平成10年度より「癒しの川づくり懇談会」を設立し、理念を構築した。平成12年度には、地域住民も交えた「子吉川癒しの川づくり検討会」の意見を計画に反映した。平成13年度には本荘第一病院に「癒しの川活動委員会」を設立する一方、癒しの川づくりを契機に、市内の30団体や個人が参加する「子吉川市民会議」が設立され、河川愛護、子吉川に関する住民の意識が高まりをみせている。

#### (3) 医療での実践活動

川を利用した散歩や運動療法の取り組み、さらには、その効果を医学的に測定し研究するなど、癒し効果のメカニズムについて、研究及び活動を実践している。

#### (4) 「癒しの川づくり」を広く内外に情報発信

川での福祉と教育の全国大会が当地区で催され、全国から情報収集・発信する機会となり、広く情報を発信している。



リハビリの活用



せせらぎ水路

### おわりに

癒しの川整備事業は、「安らぎ、癒し」について医療機関をはじめ地域の声を計画に反映し進められた整備であり、河川の利用促進のための組織、仕組みづくりも特徴の1つである。現在、川の持つ癒し効果の研究が進められ、その成果が注目を集めている。

今後、河川管理者や地元自治体、利用者がそれぞれの立場で役割分担、連携して、利用者のニーズに応じた改良整備を行い、成果目標を掲げて取り組んで行くこととしている。